

◆釣り教室レポート【ビギナーのための釣り教室】

シロギス対象 アタリがわかった 名物のシラス丼に舌鼓も！

息子と2人で15、16尾 大型多く釣り味十分

サンスポ推薦船宿会主催の第102回「ビギナーのための釣り教室」が7月26日、神奈川県鎌倉市・腰越『池田丸』でシロギスを対象に開催された。8組21人のグループが参加し、20センチオーバーの“ビッグギス”の登場に大歓声。インストラクターとして乗り込んだ上野ひとみさんらの指導で次々とゲットし、“湘南の夏休み”を満喫した。

午前8時過ぎ。ベタナギの海がほほ笑み始めた。「あっ、大きい！」と左舷トモに陣取る近藤真弘くん。「餌付けに時間がかかって・・・」と、クネクネするジャリメに苦戦していたが21、22センチの丸々したキスに「やった！」。右舷トモでは高野好司さんが「重いぞっ。デカイ！」と、同サイズを取り込む。息子の真田拓也さんや孫の隼翔（はやと）くんに先んじて「年の功かな」と笑わせる。飯田家も親子3代で参加。希海（のぞみ）さんは「大きいのが掛かると上げるのが大変。重かった。ピクピクッとアタリがわかってきました」と、父親の浩さんを見てニッコリほほ笑む。

港から約10分の近場。池田威知朗船長の「餌はしっかり刺してください」のアドバイスで始まった教室。待っていたのはメゴチの仲間のヤリヌメリ。上げると異臭を放つ。「臭い魚だったら、放流してください」と、インストラクターの上野ひとみさんらが指示して回る。本命は中、小型がポツンポツン。参加者の顔から、笑顔が消えかかったときの変化だった。

にぎやかになった。左舷ミヨシは4人組。少年野球チームの監督とメンバーの兄弟、その父親という構成だ。父親の竹下充さんは「親子とも船釣りは初めて。楽しいですね。子供たちも大きいキスをしっかり釣っています」。監督の阿部慶輔さんが、野球と同じように釣りもしっかりコーチしている。その隣には岸さんチーム3人。「10人の孫がいるけど、近くに住む2人を連れてきました」と祖母のヤス子さん。「おっ、きたよ！ 風海椰（ふみや）、リールを巻いてごらん！」と、釣り歴ウン十年の貫禄で竿を渡す。

全グループが20～23センチのビッグギスと出会い、「すごい！」の連発。さらに、ひとみ先生のさばき方教室で勉強した後は、地魚料理『池田丸』の2階で名物のシラス丼に舌鼓。夏の湘南の楽しみを独り占めしたような教室に、参加者の笑顔が弾けた。

☆インストラクター・上野ひとみさんの話

「こんなにビッグが食ってくるとはびっくり。大人も子供も、釣り上げたときのこぼれるような笑顔。それが教室のすばらしさですね。お食事付きのイベントでビッグギスー私も1人の参加者ならよかったわ！」

◎楽しい！！大満足 参加者の声

- ★森田茂雄さん 「孫に、釣りを通して命の大切さを学んでほしい。小さい魚は放流するとか。私が教えられるのは、これぐらいですから」
- ★清水誠さん 「昔は葉山芝崎の『勇太郎丸』によく出かけた。今回、20年ぶりの釣り。勘が取り戻せず5、6尾。でも、楽しい！」
- ★岡田和雄さん 「息子と2人で15、16尾。先月、ここで乗合船に乗ったときより食いが渋かった。でも、大型で、数の割に楽しめた」
- ★真田拓也さん 「関東での船釣りは初めて。これから『池田丸』に通いますよ。船長さんが優しくて楽しかった」
- ★近藤孝さん 「教室は息子が大好きで2、3回参加している。今日も私の倍くらいキスを釣ってます」
- ★飯田浩さん 「昨年参加したときより、父親も娘も上達していました。今日は大型が多く、釣り味は十分でしたね」

第102回釣り教室参加者 『池田丸』		
森田 茂雄さん (65) 暁太郎くん (8)	近藤 孝さん (41) 真弘くん (9)	清水 誠さん (50) 俊さん (12)
岡田 和雄さん (58) 直也さん (15)	飯田 浩さん (37) 健さん (68) 希海さん (12)	高野 好司さん (75) 真田 拓也さん (45) 隼翔くん (9)
阿部 慶輔さん (45) 竹下 充さん (39) 愛夢さん (10) 証夢さん (7)	岸 ヤス子さん (73) 龍空海くん (9) 風海椰くん (7)	

【主催】 サンスポ推薦船宿会、【特別協力】 サンケイスポーツ

【今回の協賛】 ハヤブサ (インストラクター1人、仕掛け21組)、マルキュー (メゴチバサミ21)、シマノ (小物袋21)、(株)モン・スイユ (ミニホイッスル21)